

# 広陵の未来は明るい！



## プロフィール

- 1994年3月23日生まれ
- 広陵西小/広陵中/畝傍高校/大阪大学法学部
- 2016年ITベンチャー企業(株)エクス入社
- 2019年First Step開業(主にIT事業を手掛ける)
- 2024年広陵町議会議員選挙 2期目当選

30歳 最年少広陵町議会議員

# ちぎた 慎也

## もくじ

- 3月議会での一般質問
- 被災地でのボランティア活動
- 生成AI使ってます!
- 令和6年度予算ピックアップ
- YouTubeでも発信中!
- チギトーーク

↓ SNSでも発信中! ↓



YouTubeでも発信中!

活動報告会



視聴は →  
こちら →



2024年5月18日(土) 19時~20時

チラシの内容・時事問題・最近の活動等をお話します。  
アーカイブも残します!コメントお待ちしております!

広陵で働く!



視聴は →  
こちら →



広陵で働く若手を取り上げる企画。  
取材依頼もお待ちしております!

## ちぎたの一般質問

- 質問1 大規模地震を想定した初期対応と受援体制確立の準備は
- 質問2 広陵町における産業支援の振り返りと今後の見通しについて

詳細は下部に記載

4月2日から6日の5日間行われました広陵町議会議員選挙にて、2期目の任期を与えていただくことができました。ご期待にお応えできるように真摯にひたむきに取り組んでまいります。

期間中は、「広陵の未来は明るい!」「政治は地方から変えられる!」ということを中心に訴えてまいりました。少しでも広陵町のまちづくりに興味を持っていただけの方が増えたら幸いです。また、なかなか政治について信頼を得づらい状況ですが、地方から、若手から、政治は変えられると信じ、これからも活動を続けてまいります。

町民のみなさまにも是非選挙が終わったあともまちづくりや各議員の活動に興味を持っていただけたらと思います。

## 一般質問

### 大規模地震を想定した初期対応と受援体制確立の準備は

本年1月1日に発生いたしました令和6年能登半島地震でお亡くなりになられた方々に心から哀悼の意を捧げます。発災後、ボランティアとして何度か被災地に足を運びました。その経験から広陵町においても必要と考えられる備えについて質問しました。

ち) 能登半島では受援体制の確立が課題になり、ボランティアの受け入れに時間がかかった。北葛城郡の社会福祉協議会の合同で行っている災害ボランティアセンター(以下、災害VC)の立ち上げ訓練は、実際の災害

VCの立ち上げ想定場所で実施するなど、より実践的な内容にすべきではないか。また、大規模地震の発生時は近隣市町村や地元団体も被災しているため、広域的な発災時の連携協定を締結するべきではないか。

☑) 他市町村の事例も調査しつつ検討する。

ち) 避難所運営についてもマニュアルが存在するが、発災時にそのマニュアル通りに避難所が運営されているか確認できる仕組みが必要ではないか。

☑) 検討する。

ネット配信



### 広陵町における産業支援の振り返りと今後の見通しについて

広陵町は平成30年に奈良県下で初めて「中小企業・小規模企業振興基本条例」を策定するなど産業振興に力を入れてきました。その取り組みを整理し、今後の方針について議論するために取り上げました。

ち) 靴下産業は限られた国内市場だけではなく積極的な海外展開をサポートすればどうか。実際に海外で評価されている企業も出てきている。

☑) JETRO奈良とも連携し取り組む。

ち) 町内事業者のデジタル化ニーズに対応できる人材が不足していると感じる。都市部等の複業人材を活用していく後押しが必要かと思うがどうか。

☑) 検討する。

## 災害VCでのボランティア

支援物資の輸送や、災害VCでの運営補助等で何度か現地に入りました。災害復興には多くの人手が必要ですが、ボランティアの方々を受け入れてきちんと活動していただける仕組みづくりが出来ていないと、来ていただいてもボランティアの方の想いを無下にしてしまうことも目の当たりにしました。

しかし、発災から間もない時期になりわいを再開されている事業者の方もおられ、地域の粘り強さも感じ、他の地域の私が勝手に悲観してはいけないとも感じました。災害復興は長期戦です。私たちが興味関心を持ちつづけることが重要だと思います。そして、頃合いをみてぜひみなさんも能登に足を運んでみてください。

## 生成AIの活用

2023年は「生成AI」という言葉が社会を駆け巡り、大きく盛り上がりました。が、最近あまり耳にしないな、とみなさん思われてませんか？実は、色んな分野やツールで生成AIが組み込まれたサービス、が出てきています。新しい技術は使わないとついていけなくなるので、自分の活動に活用してみました。一般質問のやりとりの要約+僕の声でテキストの読み上げ+音声に合わせて静止画を動かす、という3つの生成AIを組み合わせて過去の一般質問の要約動画を作ってみました（YouTubeにあげてます!）。若干不気味な動画ではありますが、かなり可能性を感じています。引き続き応用の可能性を探っていきます!

## 3月議会で各種計画が策定!

広陵町の福祉に関係する3つの計画が提出されました。地域での福祉を進めていくための「第2期広陵町地域福祉計画」(R6~R10年度まで)、障がいをお持ちの方を取り巻く現状を整理し、これからの障がい者福祉のまちづくりを推進するための「広陵町第4期障がい者計画」(R6~R11年度まで)「広陵町第7期障がい者福祉計画」「広陵町第3期障がい児福祉計画」(2計画はR6~R8年度まで)、そして、要介護状態となってもできるだけ住み慣れた地域で暮らしてもらうことを目指した地域包括ケアシステムの深化などが盛り込まれた「広陵町第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」(R6~R8年度まで)です。HPにも掲載されますので、ぜひご覧ください。

# 予算審査

## 竹取公園周辺地区まちづくり事業

令和6年2月に実施した、竹取公園再整備に向けたサウンディング型市場調査(事業内容や発注の仕様を検討するために民間事業者から幅広く意見を聴く調査手法)に基づき、公募の準備等を行います。

サウンディング(結果はQRコードからどうぞ!)では、カフェの誘致、BBQができる環境整備、各種イベントアイデア等の意見があったようです。町としては、北側のエントランスゾーン(丘陵公園との境目)をにぎわい創出のためのエリアとして官民連携の積極的な提案を募っているようです。個人的にも、エン



トランスゾーンがにぎわい部分で、のびのびゆっくり過ごせる部分は活かしたらよいと思います。色んな世代の方々に愛されるように、他にもどのような活用方法ができるか、みなさんからもご意見をいただきたいです。

## 放課後子ども育成教室の民間委託

放課後子ども育成教室は町内に6つありますが、どの小学校区でもニーズが高くなっており、クラブの教室の確保や、指導員の確保が課題になっています。広陵町では令和6年度のひまわりクラブ(真美ヶ丘第一小学校区)の民間委託を皮切りに3年間計画で全てのクラブの民間委託を行い、指導員不

足の解消や、サービス・教室内容の充実を目指しています。町直営での運営に限界があるという点は理解できますが、子ども達が安全に、安心して通うことができ、保護者の方も安心して預けられるように配慮する必要があります。

## 書かない窓口に向けて

現在の広陵町における行政手続きでは、各窓口で同じ内容を複数回書く必要があり、来庁者・職員双方に負担になっていました。そんな課題を解決するために令和6年度から窓口SaaSが導入されます。実際にどれだけ住民の方々にメリットを感じていただけるのか期待ですね。それと同時にデジタルが苦手な方への対応も注視していきます。

## ちぎたの読書のノート

私、ちぎた慎也がいいな~と思った本(やその他のコンテンツ)についてご紹介するコーナーです。第六弾はこちら!大和田秀樹さんの

### 『角栄に花束を』

田中角栄は評価の分かれる政治家だとは思いますが、僕にとっては幕末の勝海舟と並んで尊敬する政治家の一人です。そんな角さんがどんな想いで政治家になったのか。自分のためではなく、国のため、地元のために、粉骨砕身身体当たりで突き進む角さんの姿は笑いあり、涙ありで、自分の活動の大切な振り返りにもなっています。



## チギトーーーク

2期目の選挙では町民のみなさんに「演説を聞いていただく」ということを意識しました。選挙公報が各家に配布されますが、やはり政治家は「言葉」で語る職業だと思いますので、想いや熱のこもった演説を聞いていただくことが一番だと思います。しかしながら、町外へお勤めの方々は、平日の日中に実施される街頭演説に出会う機会はほぼゼロだと思います。これではあかんやろう、ということで、演説動画をほぼリアルタイムにYouTubeにアップしたり、Instagramでライブ配信したり色々工夫をしました。

どれだけの方に届いたのか分かりませんが、どんな生活スタイルでも、町の情報や、政治家の活動がしっかりとお届けできるような仕組みを引き続き模索していきます。